

宇和島 ART プロジェクト 第3回総会 次第

日 時：令和8年2月17日（火）13：30～15：00

場 所：宇和島市役所2階大会議室

1 開会

あいさつ 宇和島 ART プロジェクト委員長 岡原 文彰

2 議事（報告）

（1）令和7年度事業実績

（2）令和7年度収支決算（見込）

（3）その他

3 閉会

令和7年度事業実績

1 宇和島フォトフェスティバル 2025 UWAJIMA SIGHTS の開催

(1) 名称

宇和島フォトフェスティバル 2025 UWAJIMA SIGHTS

(2) 会期

令和7年10月25日（土）から11月24日（月・祝）まで

(3) 主たる会場

宇和島城・きさいやロード・天赦公園・伊達博物館

(4) 実施内容

①フォトアーティスト作品の展示

『Islands in Motion ー動き出す故郷』をテーマに、国内外のアーティスト14組17名による計146点の作品を展示した。

②アーティスト等との交流プログラムの実施

5組7名のアーティストが市内で滞在制作等を行った。また、展示に参加したアーティスト等が空き店舗を活用し、ワークショップやポップアップストア、報告会、プレゼント企画などを実施した。

③市民作品の展示

宇和島百景プロジェクトの特別企画として、UWAJIMA SIGHTS 2025のテーマに沿ったアート性を感じられる写真作品を募集。応募作品243点の中から、63点を選定し、天赦公園の仮囲いや伊達博物館の外堀に展示するPARK SIDE GALLERYを開催した。

④自主企画事業の実施

「Uwajima Creative Community」による写真関連イベント、ポップアップイベント、ワークショップの3つの企画を行ったほか、市出身のフォトグラファー、クリエイターとのトークイベントなどを実施した。

⑤広報・誘客活動

ア キービジュアルの制作

濱田祐史氏の作品をキービジュアルに使用し、宇和島城周辺の区画

報告事項

をシンボルとしたロゴを制作。各種広報媒体での広報展開に活用した。

イ 公式ウェブサイト・公式 SNS の開設

公式のホームページやインスタグラムを開設し、タイムリーな情報発信を行った。

ウ 広報物の制作・配布

ポスター、フライヤー、パンフレットなど広報物を制作し、県内外へ配布。のぼり旗や大型案内ボードを制作・設置し、会場エリアの雰囲気づくりに取り組んだ。

エ プロモーション

公式インスタグラム等を活用したデジタルマーケティングの実施や、市観光物産協会等との連携による PR・広報活動、関連イベント主催者との広報連携に努めた。また、企業等からの後援も得ることができた。

オ メディア対応

報道関係者向けのプレスツアーを実施し、メディアパートナー『IMA』を通じて関係メディア向けの広報宣伝を行った。

カ 公式記録媒体の制作

(制作中)

キ 関連企画等への協力

会期中、市や各種団体の企画・イベント計 33 件との連携・協力に努めた。また、愛媛県が開催した「art venture ehime fes 2025」との相互広報協力にも努めた。

⑥自主財源の確保

企業・団体へイベントの趣旨を説明し、協賛を募集した。また、Tシャツをはじめとするオフィシャルグッズを制作し、観光情報センターシロシタ等で販売した。

⑦効果測定

ア 来場者数及び経済波及効果

(ア) 来場者数

会期中の来場者数は、36,570 人となった。

報告事項

(イ) 経済波及効果

市内における経済波及効果は、鑑賞者の消費による効果が約 1.97 億円、事業運営費の支出が約 0.54 億円で、合計約 2.51 億円となった。

イ 満足度等調査

(ア) 一般来場者へのアンケート調査

会期中の 11 日間、観光情報センターシロシタ前ときさいやロードでアンケート調査を実施し、622 件を回収した。結果の概要は以下のとおりで、() 内には、特に 40 代以下の結果を示している。

a. 満足度	67.52%	(79.31%)
b. 推奨度 (NPS *1)	-18.32%	(-1.37%)
c. 再訪意欲	62.06%	(71.73%)
d. 印象の変化 (*2)	75.24%	(82.76%)

*1 NPS (ネットプロモータースコア)

「企業やブランドに対する愛着・信頼の度合い」を数値化する指標。

「あなたは宇和島フォトフェスティバル 2025 への来場を、親しい友人や家族にどの程度すすめたいと思うか？」という質問に対し、0 点～10 点の 11 段階で回答してもらい、「推奨者 (9～10 点)」の割合から「批判者 (0～6 点)」の割合を引いてスコアを算出

*2 プラスに変わったと回答した人の割合

(イ) 関係者へのアンケート調査

公式イベントなどに関わった関係者に対しアンケート調査を実施した。回答結果の概要は以下のとおりである。

【満足度等】

a. 満足度	71.43%
b. 推奨度 (NPS *1)	-14.28%
c. 再訪意欲	85.71%
d. 印象の変化 (*2)	71.43%

*1、*2 同前

【事業評価】

アートやデザインの力を使ったまちの活性化は有効	85.72%
「まちの賑わい創出」につながった	100.00%

報告事項

情報をもっと早く周知してもらいたかった	85.71%
学校の授業で観覧させる仕組みがあればよかった	71.43%
(次回開催があった場合)連携イベントを実施したい	100.00%

(ウ) 宇和島 ART プロジェクト委員へのアンケート調査

委員に対するアンケート調査を実施した。回答結果の概要は以下のとおりである。

【満足度等】

a. 満足度	50.00%
b. 推奨度 (NPS *1)	-25.00%
c. 再訪意欲	75.00%
d. 印象の変化 (*2)	66.67%

*1、*2 同前

【事業評価】

アートやデザインの力を使ったまちの活性化は有効	83.33%
「まちの賑わい創出」につながった	66.67%
学校の授業で観覧させる仕組みがあればよかった	66.67%
アーティストに宇和島市出身者がいればよかった	58.33%

ウ 地域への影響

(ア) 展示会場付近の賑わい創出

アーティスト作品の展示会場となった宇和島城天守、高校生の作品展示会場となった SLOWS COFFEE の入場者数等について前年同時期と比較した結果、宇和島城天守の会期中の入場者数は7,305人と前年同時期5,999人よりも1,306人(21.8%)増えたほか、SLOWS COFFEE の注文客数4,282人も前年同時期2,924人よりも1,358人(46.5%)の増加となった。

また、中心商店街については、令和6年5月に商工会議所と商店街が合同で実施した調査結果をもとに推計値と比較したところ、会期中の来場者数は17,495人で、前年同時期12,428人よりも5,067人(40.8%)の増加という結果となった。

(イ) 宿泊客の動向

展示会場付近に位置する6つのホテルに対し、会期中の宿泊客の動向についてヒアリングを実施した結果、会期中のホテルの合計宿泊客数は17,273人となり、前年同時期16,296人よりも977人(6.0%)増加した。また、平均宿泊稼働率は83.6%で、前年同

時期 80.4%よりも 3.2 ポイント増加した。

客層については、一部において「土日の宿泊客に若い世代が少し増えた印象を受けた」という報告があったが、全体としては「(一定数の宿泊はあったと思われるが)印象に残るほどの大きな変化は見られなかった」との結果となった。

エ アンケート調査結果等に基づく考察

来場者数や経済波及効果、アンケート調査の結果から、「まちの賑わい創出」に一定の効果が得られたと考えられる。

特に、40代以下の「宇和島に対する印象がプラスに変わった(82.76%)」という結果は、まちづくりを考えるうえで重要な要素であり、この地域の将来展望や新たな魅力発展への期待が示されている。なお、その40代以下の来場者が約50%であったことを踏まえると、今後は若年層が興味を引くようなアートイベントやコラボレーション企画を充実させ、若年層の参加や交流をさらに促進する工夫と何度も訪れたいくなる環境づくりが重要であると考えられる。

また、関係者からは、今後の連携に対する希望が寄せられており、今後はより多くの市民が参画する機会を増やし、学校教育との積極的な連携を通じて子どもたちにアートやデザインに関する体験を提供し、地域の担い手育成を進める仕組みも重要である。

展示については、誰もが鑑賞できるパブリックアートとして実施し、流れを意識した導線づくりや資源の有効活用を進めることで、アート鑑賞とまちの魅力を同時に感じてもらうことに努めた。参加アーティストについては、国内外で活躍するアーティストが参加したことで関心が高まり、関係人口創出の観点では一定の効果があつた。一方で、本市出身者やゆかりのあるアーティストを増やし、シビックプライドの醸成とより地域振興につながる工夫も求められている。

広報宣伝については、情報周知の遅れにより宣伝効果が不足していたことから、今後は、事前の情報発信を早期に行い、ターゲット層に向けた効果的なプロモーションを強化する必要がある。具体的には、SNSや地域メディアを活用した情報拡散を積極的に進め、来場者に向けた魅力的なコンテンツ提供を行うことが求められる。

今後は、来場者が単なる「鑑賞者」から主体的に関わる「当事者」へと変わるきっかけを提供し、本市の魅力向上につながる「地域密着型のアートプロジェクト」をさらに充実させる必要がある。

令和8年1月13日

宇和島市長
宇和島 ART プロジェクト委員長 岡原文彰 様

フォトフェスから市政を考える会

宇和島フォトフェスティバル2025に関する申し入れ及び質問書

貴殿におかれましては、宇和島市長として市政発展及び市民生活向上のためにご尽力されていますことに敬意を表します。

さる10月25日から11月24日までの間行われた「宇和島フォトフェスティバル2025 UWASJIMA SIGHTS」。「芸術文化による新たな魅力と価値を創造し発信する事業」(宇和島 ART プロジェクト規約より)として取り組まれました。

私たちは、宇和島では初めてとなる芸術を通じた街づくりであること、そして巨額の事業費によるものであることなどから、大きな関心を持って事業内容を見つめてきました。アーケード内商店街、宇和島城周辺や宇和島城内における展示は、写真など芸術に造詣がある方々にとっては興味深いものになったのかもしれませんが、一方、多くの市民が事業に関心を示したのか？と問われれば、当初考えていたような紘がりはなかったのではないかなと言わざるを得ないのではないのでしょうか。

事業の総括については、2月に開催が予定されている「第3回宇和島 ART プロジェクト総会」において行われるということなので、その結果を待ちたいと考えています。

しかしながら、先の12月議会で榎野議員が一般質問で取り上げていた、18歳以下の子供たちに写真集を無料で配布する事業 プレゼント企画「はじめての写真集」。その写真集の中に女性のヌード写真が含まれていたという問題については、2月の総会を待つことなく早急な対応が求められるのではないかと思います。

宇和島市は、「包括的性教育」に取り組み、子どもたちが自他ともに尊重される関係性を獲得し、肉体的、精神的そして社会的な健康、幸福、いわゆるウェルビーイングを実現することを目指しています。そのような中で起きた今回の事案は、それと逆行するものではないのでしょうか。

このことを議会で問われた市長公室長は、「芸術性を考慮しますと、一概に不適切と言い難いところもあるのではないかと」答えられていました。また「慎重な対応が必要な場合もある」とされていますが、配布された写真集がどのようなものであったか事前に確認していないなど「慎重な対応」がされていないことも明らかになりました。

また、報道によると、宇和島市は、愛媛県に問い合わせ、配布された写真集が県の指定する「有害図書」に含まれていないことを理由として、配布された写真集の「回収は行わない」としたようです。

そもそも愛媛県青少年保護条例によって指定される「有害図書」は、極めて限定的なものであり、「指定されていない」からといって「青少年に相応しい図書」であるとは限りません。

実際に愛媛県の担当者に、配布された写真集を見てもらったところ、子どもたちに無料で配布されるものとしては「適切とは言えない」との回答でした。

議会答弁によると、188冊が子どもたちの手に渡っているとのこと。その全ての写真集に同様な写真があるのかも把握できていないようです。私たちは、市民の理解を得た上で行うのであれば ART プロジェクトの目的に反対するものではありませんが、今回の事案をしっかりと調査し、総括することが次の事業展開への条件になるのではないかと考えています。

よって以下の点について、ART プロジェクト委員長でもある岡原市長にお答えいただきますようお願いいたします。

【 質 問 項 目 】

1. 宇和島市は「こころまじわうプロジェクト包括的性教育」で先進的な取り組みをしていることでマスメディアなどでも全国的に紹介されています。女性のヌード写真が含まれた写真集を 18 歳以下の子どもたちに配布したことについて、包括的性教育の観点からどのようにお考えですか。
2. 女性のヌード写真が含まれている写真集が、県が指定する「有害図書」に含まれていないという理由で、安易に「問題がない」と判断されたようですが、「有害図書」に含まれていないことと、包括的性教育との関係について、どのようにお考えですか。
3. 既に配布された188冊の写真集の内容の確認、不適切な写真が含まれている写真集の回収をするお考えはありますか。
4. 「はじめての写真集」の主権が民間事業者であったとはいえ、宇和島フォトフェスティバル2025全体の事業の中の交流イベントとして取り組まれたことに違いはありません。とりわけ子どもたちに配布する写真集の内容を事前に確認していなかったことに問題はなかったとお考えですか。
5. 2月に開催が予定されている「宇和島 ART プロジェクト」総会で、今回の問題についての経緯を説明したうえで、委員のみなさんの意見を集約し総括するべきと考えますが、今後再発防止に向けてどのように取り組むか、そのお考えはありますか。

6. 事業全体として、市民の関心の高まり、市外からの来客数など次回の開催を考えるのであれば、見直しが必要なのではないでしょうか。「市民アンケート」を実施して、市民の意見を事業に反映するお考えはありませんか。
7. 女性のヌード写真が含まれた写真集が、18歳以下の子どもたちに配布されたことは間違いのない事実です。以上について市民に説明すべきではないか。責任は委託業者にあるというのでしょうか。そうでないなら公の場での説明と謝罪が必要だと考えますが、そのお考えはありますか。

以上

上記7項目について、令和8年1月20日までに回答いただきますようによろしく申し上げます。

宇和島フォトフェスティバル2025に関する申し入れ及び質問書に賛同している

市民 **40** 名の署名を添付いたします。

※令和8年1月20日に市長公室 窓口にて受け取りさせていただきます。

フォトフェスから市政を考える会
連絡先代表 XXXXXXXXXX

宇和島ARTプロジェクト委員長 岡原 文彰

宇和島フォトフェスティバル2025に関する質問に対する回答書

日頃より、本会事業にご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、令和8年1月13日付で受理いたしました「宇和島フォトフェスティバル2025に関する申し入れ及び質問書」について、下記のとおり回答します。

記

【企画説明】

名称：プレゼント企画「はじめての写真集」
主催：「IMA」編集部（UWAJIMA SIGHTS 2025 メディアパートナー）
日時：令和7年10月25日（土曜日）11：00～18：00
令和7年10月26日（日曜日）11：00～18：00
令和7年11月1日（土曜日）11：00～18：00
令和7年11月2日（日曜日）11：00～18：00
令和7年11月22日（土曜日）11：00～18：00
令和7年11月23日（日曜日）11：00～18：00
令和7年11月24日（月曜日）11：00～18：00
場所：きさいやロード内 sun plaza 跡
対象：市内の18歳未満の子ども
目的：子どものうちから優れた芸術に触れる機会を提供すること。
内容：会場に、約2,000冊（約600種類、販売価格としては1冊数千円～数万円）
の写真集を陳列し、子どもたちがその中から気に入った1冊を選び、それを無料でプレゼントする企画。

【質問に対する回答】

1. 宇和島市は「こころまじわうプロジェクト包括的性教育」で先進的な取り組みをしていることでマスメディアなどでも全国的に紹介されています。女性のヌード写真が含まれた写真集を18歳以下の子どもたちに配布したことについて、包括的性教育の観点からどのようにお考えですか。

（回答）

包括的性教育は、単に生理的な知識を提供するのではなく、子どもたちが自分の体や心、価値観を健全に育てるために、多角的かつ広範な学びを深める教育です。宇和島市の小中学校では、授業を通して、自分の体のことだけでなく、友達との人間関係、ジェンダーの理解、SNS等からの安全の確保等、様々な観点から性についての学び

を深めるとともに、子どもたち一人一人が、性において「自分も相手も大切にすることが出来る力」を身に付け、生涯に渡って幸せにつながる「性的自己決定能力」を育む性教育に取り組んでおります。

今回の写真集のプレゼント企画は、教育課程に基づく包括的性教育とはその目的や位置づけが異なりますが、子どもたちを対象とする場合においては、慎重な対応が必要であったと考えております。

2. 女性のヌード写真が含まれている写真集が、県が指定する「有害図書」に含まれていないという理由で、安易に「問題がない」と判断されたようですが、「有害図書」に含まれていないことと、包括的性教育との関係について、どのようにお考えですか。

(回答)

今回の企画では、その目的のため、今回のフォトフェスに参画いただいたアーティストを含め、多種多様な写真集をご用意いたしました。

それらは、その全体が芸術性などの幅広い観点から評価されるものであると認識しておりますが、その一方で、今回は子どもを対象としておりましたので、慎重な対応が必要であったと考えており、今後十分留意いたします。また、包括的性教育との関係については、質問1への回答のとおりです。

3. 既に配布された188冊の写真集の内容の確認、不適切な写真が含まれている写真集の回収をするお考えはありますか。

(回答)

今回の写真集のプレゼント企画については、先の目的に沿って実施をしたもので、保護者を伴う子どもや学生が閲覧のうえ、自由に選んでいただきました。本件も含め、お持ち帰り後にご本人やご家族が不快に感じ、回収を希望する旨のご連絡を受けた場合には対応いたしたいと存じます。

4. 「はじめての写真集」の主権が民間事業者であったとはいえ、宇和島フォトフェスティバル2025全体の事業の中の交流イベントとして取り組まれたことに違いはありません。とりわけ子どもたちに配布する写真集の内容を事前に確認していなかったことに問題はなかったとお考えですか。

(回答)

ご指摘のとおり、宇和島フォトフェスティバル2025の一環として行った事業であり、慎重な対応が必要であったと考えております。

5. 2月に開催が予定されている「宇和島ARTプロジェクト」総会で、今回の問題についての経緯を説明したうえで、委員のみなさんの意見を集約し総括するべきと考えますが、今後再発防止に向けてどのように取り組むか、そのお考えはありますか。

(回答)

次回の総会において、本件に関する経緯説明を行うとともに、今後は、特に子ども向けの企画において、事前に十分なチェックを行うなどの対応を図ってまいります。

6. 事業全体として、市民の関心の高まり、市外からの来客数など次回の開催を考慮するのであれば、見直しが必要なのではないでしょうか。「市民アンケート」を実施して、市民の意見を事業に反映するお考えはありませんか。

(回答)

本事業については、実施期間中に来場者アンケートを実施しているほか、実行委員会委員の意見等も集約いたします。また、本件のような市民からのご指摘や市議会等でのご意見も踏まえ、不足していた点等につきましては、改善や見直しを行ってまいります。

7. 女性のヌード写真が含まれた写真集が、18歳以下の子どもたちに配布されたことは間違いのない事実です。以上について市民に説明すべきではないか。責任は委託業者にあるのでしょうか。そうでないなら公の場での説明と謝罪が必要だと考えますが、そのお考えはありますか。

(回答)

自由に選んでいただいた各写真集についての価値判断は、個々に異なるものと考えております。なお、本件も含め、不快に感じるなどの理由で返却を希望される場合は、個別に対応いたしたいと存じます。

報告事項

令和7年度収支決算（見込）

1 収入の部

（単位：千円）

区分	予算額	決算額(見込)	増減(見込)	備考
負担金	120,000	112,928	△7,072	宇和島市
協賛金	3,000	1,900	△1,100	25社
その他収入	0	400	400	公式グッズ販売収入
収入計	123,000	① 115,228	△7,772	

2 支出の部

（単位：千円）

区分	予算額	決算額(見込)	増減(見込)	備考
事業費	119,838	113,461	△6,377	宇和島フォトフェスティバル 2025 UWJIMA SIGHTS
展示等企画費	91,997	91,596	△401	アーティスト作品の制作・展示 プレスツアー 交流プログラムの実施
市民企画費	5,086	3,492	△1,594	市民作品の展示 市民企画イベント運営費
広報活動費	20,169	17,270	△2,899	キービジュアル等コンテンツ制作 公式HP開設・広報物の制作 デジタルマーケティング
イベント事務費	2,586	1,103	△1,483	効果測定費 損害保険料 ほか
事務局運営費	3,162	1,539	△1,623	事務局運営事務費
支出計	123,000	② 115,000	△8,000	

3 収支差額(見込) ①－②

228千円（翌年度事業費へ繰越）

協賛金収入	1,900千円	…	③
充当先事業費	788千円	…	④ PARK SIDE GALLERY 拡充分
	884千円	…	⑤ 宇和島城夜間開城
差引額 ③－(④＋⑤)	<u>228千円</u>		

宇和島フォトフェスティバル 2025 UWAJIMA SIGHTS

事業実績 別添資料

宇和島 ART プロジェクト

1 フォトアーティスト作品の展示

14組 17名のアーティスト及び146点の展示作品

※写真の転載禁止

森山大道 -宇和島 2004-



安藤 瑠美 -UWAJIMA NUDE 2025-



岩根 愛 -KIPUKA: Lahaina 2023-



シェルテンス&アベネス -A Matter of Approach 2025-



チャーリー・エングマン -Mom 2016-



小池 健輔 -新大陸 2025-



TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH
(小山泰介、築山礁太、河原孝典)
-OVERNATURE 2025-

吉楽 洋平 -BIRDS 2012-



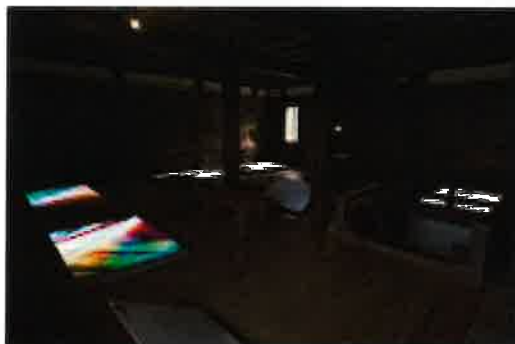
本城 直季 -small planet, Uwajima 2025-



イナ・ジャン -Radiator Theatre 2018-



濱田 祐史 -R G B 2025-



IMA next 受賞作品



Skander Manaa



鷹巢由佳



夢無子

濱田 祐史 (キービジュアル・トゥクトゥク)



2 アーティスト等との交流プログラムの実施

(1) 滞在製作

① 安藤 瑠美

8月2日から3日にかけて、市内を巡り作品用の撮影を行った。作品は、市街地の景観をレタッチによって再構成した、写真の中だけに存在する新たな宇和島の風景写真となった。

② 小池 健輔

8月4日から10日にかけて、商店街の空き店舗においてみかんを題材とした滞在製作を行った。作品は、巨大なものから折紙サイズのものまで、バリエーション豊かなものとなった。

③ TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH

8月10日から12日にかけて、宇和島のリサーチや撮影をおこなった。作品は、和紙として平面に圧縮したアコヤ貝の破片に写真を投影し、撮影したものとなった。

④ 本城 直季

9月22日に、宇和島の上空で空撮を行った。宇和島城や養殖業といった風景をミニチュアのように表した作品となった。

⑤ 濱田 祐史

9月19日から22日にかけて、真珠養殖の現場をはじめ市内で調査・撮影を行った。作品は、宇和島にまつわるものの影を被写体としたものとなった。

(2) 交流イベント

日付	名称	場所	概要	参加人数等
10月25日(土)	UWAJIMA SIGHTS 2025 展示作品ガイドツアー	きさいやロード～宇和島城	宇和島市に点在するフォトフェスティバルの展示作品やアーティストについて解説する、詳細なガイドツアー。 ▷解説 株式会社アマナ 太田睦子氏(エキシビジョンディレクター)	60名
10月25日(土)～26日(日)	不定期にどこかに現れる本屋「Photon Observation Club」	sun plaza 跡(宇和島きさいやロード内)	アーティストが運営するフォトフェス期間中のみオープンするポップアップ書店。 ▷アーティスト 吉楽 洋平、迫 鉄平、濱田 祐史 ほか	150名

10月25日(土)～26日(日)、11月1日(土)～2日(日)、22日(土)～24日(月)	プレゼント企画「はじめての写真集」	sun plaza 跡 (宇和島きさいやロード内)	メディアパートナーの「IMA」編集部 の主催するポップアップ書店を開催。 0歳から高校3年生までの宇和島市の子供たちだけに、写真雑誌「IMA」が提供する好きな写真集を1冊、無料でプレゼント。	プレゼント数 188冊
10月25日(土)～26日(日)	ワークショップ「シルクスクリーンスタンド ポック」	sun plaza 跡 (宇和島きさいやロード内)	アーティストが写真を使ってシルクスクリーンの体験型ワークショップを開催。 Tシャツやトートバッグなど、お手持ちの生地シルクスクリーンをその場で施し。 ▷アーティスト 濱田 祐史、OBK.404、迫 鉄平	版数 56版 参加者 110名
10月25日(土)～26日(日)	ワークショップ「新大陸」をつくろう!	MIYOSHI 跡 (宇和島きさいやロード内)	みかんの皮が商店街をジャックし、市民の手によって増殖していく! みかんという立体を平面にして、再び立体に戻す行為を「新大陸」に見立てたユニークなアート制作を体験。 ▷アーティスト 小池 健輔	参加者 100名
11月8日(土)	宇和島フォトグラフィックリサーチ報告会～TPRが宇和島で見つけたもの～	sun plaza 跡 (宇和島きさいやロード内)	実際に街を歩いて宇和島のいまと向き合った、TPRの小山泰介によるレポートです。 ▷アーティスト 小山泰介 (TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH)	参加者 17名

※参加人数については一部概算の数値あり

3 市民作品の展示

「UWAJIMA SIGHTS 2025」のテーマである「Island in Motion ～動き出す故郷～」に沿ったアート性を感じさせる写真を、宇和島百景の Instagram を通じて募集し、市内で活動する水野謙治氏、吉田桃子氏、Uwajima Creative Community 及び徳山大毅氏に審査していただき作品を選出した。

[募集・展示]

募集期間	応募点数	展示期間	展示点数
2025/7/1 ～8/31	243 点	2025/10/1 ～2026/1/12	63 点

[作品]

宇和島東高等学校側

No.	内容・撮影場所等	No.	内容・撮影場所等
1	宇和島百景展	20	吉田町 法華津
2	Le Soleal クルーズ客船	21	吉田町 奥南
3	岩松川	22	中山池自然公園
4	宇和島打上花火大会 2025	23	吉田町 法華津峠
5	岩松川	24	三間コスモスまつり
6	九島裏 宇土の崎付近	25	三間町
7	つしま夏祭り	26	南楽園
8	和船漕ぎ競争	27	吉田町 法華峠
9	宇和島市 新内港	28	和霊神社
10	うわじま牛鬼まつり	29	津島町 榎川
11	宇和島市千代浦地区	30	うわじま牛鬼まつり 海上打上花火大会
12	宇和島市 九島	31	小西本家離れ
13	つしま夏祭り	32	旭醤油醸造場
14	津島町	33	第 58 回うわじま牛鬼まつり海上花火大会
15	宇和島市 蛤	34	宇和島城
16	旧九島小学校	35	宇和島城
17	遊子段々畑	36	三島神社
18	九島	37	宇和島市 新内港
19	岩松	38	うわじま牛鬼まつり

城南中学校側

No.	内容・撮影場所等	No.	内容・撮影場所等
1	うわじま牛鬼まつり	9	吉田町ブラッドオレンジ モロ
2	三島神社	10	津島町 増穂

3	第58回うわじま牛鬼まつり 海上花火大会	11	宇和島市 蛤
4	三島神社	12	吉田町
5	宇和島百景巡回展	13	津島町 田之浜
6	三間町中山池自然公園内	14	ル・ソレアル
7	小西本家離れ	15	吉田町
8	天赦園	16	九島大橋

伊達博物館（外塀）

No.	内容・撮影場所等	No.	内容・撮影場所等
1	和船漕ぎ競争	6	小西本家離れ
2	宇和島市 蛤	7	三島神社
3	宇和島市 新内港	8	うわじま牛鬼まつり
4	三島神社	9	伊達博物館前（天赦公園側）
5	宇和島海上打上花火大会		



宇和島東高等学校側



城南中学校側



伊達博物館（外塀）

4 自主企画事業の実施

日付	名称	場所	概要	参加人数等
10月25日 (土)	オープニングイベント	宇和島き さいやロ ード内	宇和島東高校吹奏楽部によるウェルカム演奏や、エキシビジョンディレクターによる展示作品の魅力やアーティストの思いを紹介。	80名
期間中	Uwajima Creative Community 「百面牛鬼」	宇和島き さいやロ ード内	使われなくなって倉庫に眠っていた牛鬼に、来場者思い思いの「魔除け顔」の写真を貼ってもらい、参加者みんなで作り上げる「百面牛鬼」として再生。	1,043名
10月26日 (日)、 11月2日 (日)、11 月3日 (月)(祝)	対話型アート鑑賞ツアー	商店街、 宇和島城	展示作品を前にして感じたことや考えたことを、参加者やファシリテーターとコミュニケーションしながら味わう鑑賞ツアー。愛媛県アートコミュニケータ「ひめラー」の清家 由佳氏がファシリテーターとして案内。	20名
10月26日 (日)	「会場サインをつくろう」ワークショップ	宇和島消 防署	吉田高校建築部が南予産の木材で作った箱馬に子どもたちが矢印を描き、展示案内サインとして宇和島城内に設置。 講師はべにばら画廊の吉田桃子氏。 ※3歳～18歳（小学生以下は保護者同伴）	28名 (保護者含む)
11月8日 (土)	Uwajima Creative Community 「koujiya BAR with UCC」	SLOWS COFFEE	「Uwajima Creative Community (UCC)」のメンバーの1人が毎月開催しているバーイベントに他のUCCメンバーも参加し、それぞれの個性あふれるPOPUPを実施。	50名
11月16日 (日)	Uwajima Creative Community 「アオノマチ～サイアノタイプで記録するまちのキオクと風景～」	BARBER CRUISE	宇和島の景色を、青写真とも呼ばれる古典的な写真技術「サイアノタイプ」でプリントするワークショップを開催。講師は中地シュウ氏。	9名

11月23日 (日)(祝)	宇和島城夜 間開城	宇和島城 (桑折長 屋門から 入場)	宇和島城を1日限定で夜間開放 ※天守への入場不可	411名
11月24日 (月)(休)	ESECAN(中 村和孝・中 澤保人) トークイベ ント	パフィオ うわじま (1階) ホール	クリエイティブチーム「ESECAN」 から宇和島市出身の2人のトップ クリエイターをゲストにお招き し、トークイベントを開催	121名

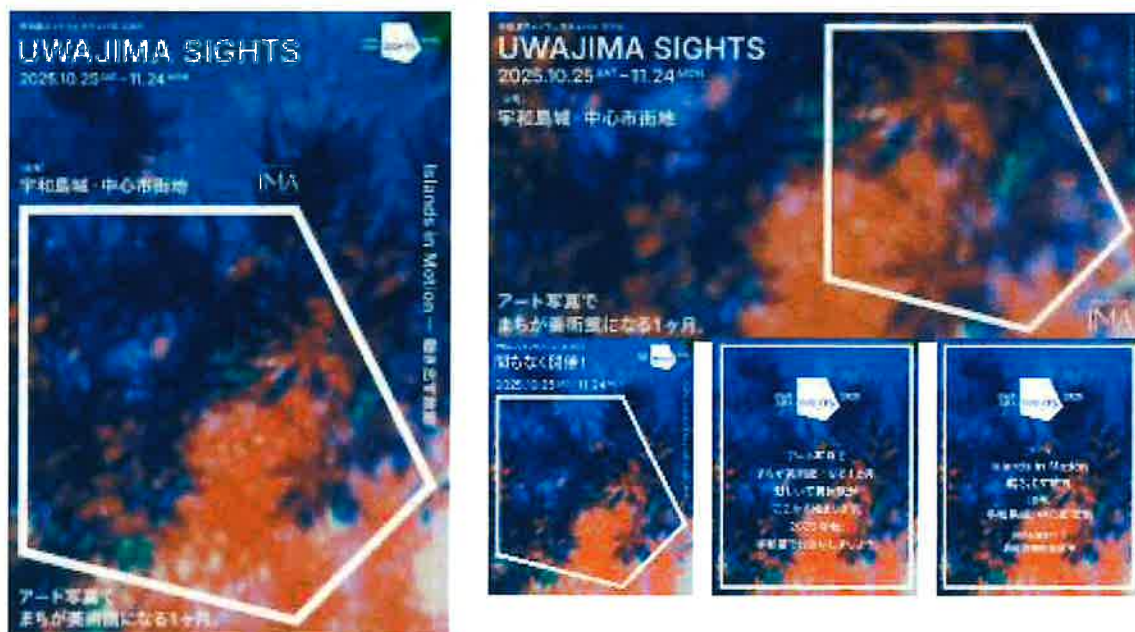
※参加人数については一部概算の数値あり

5 広報・誘客活動

(1) キービジュアルの制作

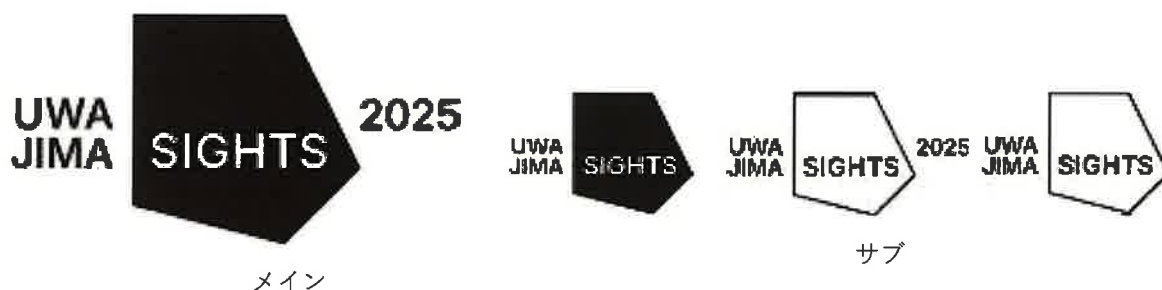
① キービジュアル

濱田祐史氏の作品をキービジュアルに使用し、ポスター、フライヤー、公式ウェブサイト、パンフレット、SNSなどに展開。



② ロゴ

共通ロゴタイプを作成し、各種広報媒体やグッズなどに使用。



[デザインコンセプト]

宇和島城とその外周の区画は、周辺地域が時代とともに目まぐるしく変化し拡張される中で、街のシンボルとしてその存在感と形状を維持し続けています。不等辺五角形の形をした外周の区画は現代にも通ずるシンプルで力強い形状をしています。宇和島の古地図から抽出されたこの形を抽象化し、ロゴタイプのキービジュアルとしました。等角ではない形状は故郷の新たな成長の躍動感を表現し、カメラの絞り羽根にも見えるネガ反転する中央部のデザインは、変化し始める街の瞬間を捉える現代写真のフェスティバルであることを併せて明示しています。

(2) 公式ウェブサイト・公式 SNS の開設

① 公式ウェブサイト <https://uwajima-art-project.jp/>

2025年6月24日にティザーサイトを公開し、8月25日には本番サイトへ更新した。キービジュアルやアーティスト作品など画像を効果的に活用し、文字は極力使用せず、視覚から閲覧者の興味を引くデザインとした。またPCやタブレット、スマートフォンなど、多様なデバイスから閲覧に最適な表示が可能なマルチデバイス対応を行い、見やすさ、操作性も考慮した。

6月から12月までに、19,682ユーザー*1からのアクセスがあった。同期間のセッション数*2は、27,361件であった。

約98%は国内からアクセスしたユーザーで、約2%が国外のユーザーであった。

国内からアクセスしたユーザーは東京(31.37%)からが一番多く、次いで愛媛(24.36%)、大阪(9.52%)、広島(4.92%)であった。

*1 Google Analytics により解析したウェブサイトへの訪問者数。期間内に同一ユーザーが何度アクセスしても1件と数える。

*2 Google Analytics により解析した「延べ何回、訪問されたか」を示す数字である。



② 公式 Instagram

アーティスト情報や展示内容、公式イベント、グッズ情報、関連イベントなどを発信。全体的な統一感を意識しながら、ストーリーズでは宇和島の魅力的な景色なども投稿した。

フォロワー数は、2025年11月28日時点で1,768人だった。



(3) 広報物の制作・配布

ポスター、フライヤー、のぼり、パンフレットなどの広報物を制作し、県内外へ設置。



のぼり



ミニのぼり



第1弾ポスター



第1弾フライヤー



第2弾ポスター



第2弾フライヤー



パンフレット



案内ボード



PRT シャツ

(4) プロモーション

① SNS 広告

ターゲットやタイミングを検討の上、計3回の広告配信を実施。

	配信期間	インプレッション	クリック	リーチ
1回目	9/1～9/10	314,000	6,389	128,632
2回目	10/1～10/10	516,855	9,400	211,488
3回目	11/1～11/10	1,817,197	4,021	1,172,275



② メディア掲載 (確認できた主なもの)

- 新聞
 - 愛媛新聞 9/25、10/25、10/26、11/14
 - 産経新聞 10/14
 - 山陽新聞 10/20
- ラジオ
 - NHK ラジオ「ホッと！四国」10/31
- 雑誌
 - 月刊コロンブス 9月号
 - CAPA 2025年11月号 Autumn
 - CANON PHOTO CIRCLE 11月号
 - JR 四国ニュース 10月号 No. 456「四国再発見」
 - マルヘリマガジン No. 02 2025 Jul
 - つなぐ秋号 2025 No. 32
 - 宇和島商工会議所会報 242号
- ウェブサイト
 - IMA ONLINE
 - 南海放送
 - 美術手帖
 - ADF webmagazine
 - まじめなえひめ研究所チャンネル
 - CREATIVE VILLAGE
- テレビ
 - 宇和島ケーブルテレビ
 - NHK 松山放送局
 - テレビ愛媛
 - 南海放送

③ PR・広報活動

2024年に開催した宇和島百景展の巡回展を行ったほか、市内外のフェアやイベントでブース出展、フライヤー配布などを実施。

期間	内容
2025/7/12	宇和島百景巡回展（道の駅みま）
2025/7/19-21	宇和島百景巡回展（吉田伊達広場）
2025/7/22-24	うわじま牛鬼まつり PR
2025/8/3	愛媛まるごと移住フェス in 東京 PR
2025/8/23-24	宇和島百景巡回展（小西本家敷地）
2025/8/24	イオンモール新居浜 PR
2025/8/31	愛媛 FC 宇和島市マッチシティ PR
2025/9/6	1000K YOU ROCK. UWAJIMA PR
2025/9/6-7	KITTE 大阪 PR
2025/9/13-15	北の恵み あさひかわ食べマルシェ 2025PR
2025/9/20	ふるさと回帰フェア 2025PR
2025/9/21	ANA FESTA 松山店 PR
2025/9/27-28	オーイシマサヨシ ワンマンライブ at さいたまスーパーアリーナ PR
2025/10/4	四国暮らしフェア in 東京 PR
2025/10/8-11/24	ブックファースト ルミネ大宮店「宇和島 POP-UP」 PR
2025/10/11-13	道の駅とうべつ「宇和島フェア」 PR
2025/10/12-13	自由が丘 女神まつり PR
2025/10/19	愛媛まるごと移住フェス in 大阪 PR
2025/10/24-11/16	WonderG00 奥州水沢店「宇和島 POP-UP」 PR
2025/10/24-11/16	書房すみよし まるひろ南浦和 SC「宇和島 POP-UP」 PR
2025/10/24-11/24	明屋書店 MEGA 新下関店「宇和島 POP-UP」 PR
2025/10/25	愛媛サイクリングの日 PR
2025/10/25	愛媛オレンジバイキングス宇和島開催試合 PR
2025/11/1-2	杜と海のハーモニーフェスタ 2025（松山市大街道） PR
2025/11/1-2	渋谷区くみんの広場 ふるさと渋谷フェスティバル PR
2025/11/1-24	明屋書店（MEGA 西の土居店、MEGA 平田店、大洲店、八幡浜店、宇和島明倫店、四万十川店、広見店） PR
2025/11/9	南予・愛媛博（高円寺） PR



- ④ 後援（13 企業・団体）
愛媛県
愛媛県教育委員会
宇和島市教育委員会
愛媛新聞社
朝日新聞松山総局
毎日新聞松山支局
読売新聞松山支局
NHK 松山放送局
南海放送
テレビ愛媛
あいテレビ
愛媛朝日テレビ
宇和島ケーブルテレビ

6 関連企画等への協力

(1) 公式イベント

期 間	名 称	場 所
2025/10/1(水)- 12/27(土)	中央図書館企画展示 ー視覚文化を さかのぼる旅ー	中央図書館 (パフィオうわ じま)
2025/10/4(土)	クリーン新宇和島	宇和島市内各地
2025/10/25(土)	写真家とのトークセッション ～ Horibata Life Career Design Talk～ (宮脇 慎太郎 氏)	宇和島市生涯学習センター (パフィオうわじま 1階)
2025/10/31(金)	写真家とのトークセッション ～ Horibata Life Career Design Talk～ (石川 直樹 氏)	宇和島市生涯学習センター (パフィオうわじま 1階)
2025/10/25(土)- 11/24(月)(休)	高校生の作品制作と展示 ～ Horibata Creative Curriculum～	SLOWS COFFEE

(2) 連携イベント

期 間	名 称	場 所
2025/9/上旬-	第7回 安岡蒲鉾のかまぼこ板 美術展 2025	安岡蒲鉾 本社・工場
2025/9/21(日)- 11/24(月)(休)	デカルマチニー	道の駅きさいや広場、 袋町商店街
2025/10/11(土)- 11/24(月)(休)	令和7年度 仙台市・宇和島市歴史姉 妹都市提携50周年記念特別展「伊達 の遺伝子ー我が祖先(おや)は奥の最上 や天の川ー」	宇和島市立伊達博物館
2025/10/18(土)- 11/9(日)	みま町コスモスまつり	宇和島市立成妙小学校付近
2025/10/24(金)- 2026/1/26(月)	越智紀久張・今昔展ー久遠の旅路ー	畦地梅太郎記念美術館
2025/10/25(土)	SOURCE	BAR Cheola
2025/10/25(土)	ふれあい手作り市	オレンジカフェひだまり
2025/10/26(日)	食-1. 出てこい宇和島の食 来てや 食べてってやフェス	袋町商店街
2025/10/26(日)・ 11/16(日)	列車で行こう！ALWAYS マルシェ ー伊予宮野下駅ー	JR 予土線 伊予宮野下駅前

2025/10/26(日)・ 11/2(日)	Halloween Live、BOO NIGHT @R69K JACK	R69K JACK
2025/10/26(日)	定期闘牛大会 秋場所	宇和島市営闘牛場
2025/10/28(火)～ 10/30(木)	2025 BOOTH ハロウィン撮影会	セルフ写真館 BOOTH
2025/10/28(火)～ 11/30(日)	Atelier Palette GARO. 展示会	Atelier Palette GARO.
2025/10/29(水)	宇和津彦神社秋祭り	宇和津彦神社、 きさいやロード など
2025/11/1(土)・ 11/23(日)(祝)	宇和島市民文化祭 輪太鼓どんどこど ん	宇和島市総合福祉センター4 階ホール
2025/11/1(土)- 11/2(日)	予土まち散走ツアー (11月宇和島・三 間編)	宇和島市内
2025/11/1(土)	Thanks PEARL DAY in 宇和島袋町 商店街	袋町商店街
2025/11/2(日)	伊達な城下町～ワクワクするウワジマ ～2025 ワクジマフェス autumn	袋町商店街
2025/11/3(月)(祝)	吉田祭のお練り行事	八幡神社(立間地区)、 本丁通り周辺 など
2025/11/9(日)	花柳マルシェ+	袋町商店街
2025/11/15(土)	GAGLE LIVE	BOOBY
2025/11/15(土)- 2026/1/下旬	fukuromachi illumination street 2025	袋町商店街
2025/11/16(日)- 11/30(日)	オープンスペースきゃっち “オノマ トペ” 写真展	宇和島市スポーツ交流センタ ー
2025/11/16(日)	三宅香帆講演会ー読書の歴史と未来ー	宇和島市生涯学習センター (パフィオウわじま1階)
2025/11/16(日)	岩松レトロ浪漫街 ～紳士淑女よ大正 浪漫を歩きませう～	阿部邸ハルモニの家、 小西家、みよし食堂
2025/11/22(土)- 11/26(水)	Kyon Nao Shun 3人展	べにばら画廊
2025/11/23(日)(祝) -2026/1/10(土)	中山池自然公園イルミネーション点灯 式	中山池自然公園
2025/11/23(日)(祝)	まちカフェすずらん	鶴島公民館 調理実習室

7 自主財源の確保

(1) オフィシャルグッズ

公式ロゴをモチーフに公式グッズを制作し、観光情報センターシロシタや木屋旅館等で販売した。

[グッズ一覧]

品名	販売価格 (税込)	販売数
Tシャツ (白・黒)	2,000 円	91
手ぬぐい (青・橙・白)	900 円	146
ステッカー (白・黒)	100 円	984
缶バッジ (緑・青・橙)	300 円	98
トートバッグ (ナチュラル・黒)	1,000 円	122



販売の様子



Tシャツ



手ぬぐい



ステッカー



缶バッジ



トートバッグ

(2) 協賛 (25 企業・団体)

企業・団体名	所在地	備考
高砂熱学工業株式会社	東京都新宿区	Aプラン
ダイアテック株式会社	京都市	Aプラン
ソニーデザインコンサルティング株式会社	東京都港区	Aプラン
全日本空輸株式会社	松山市	Bプラン
株式会社電通総研	東京都港区	Bプラン
株式会社丸中運送	高知市	Cプラン
宇和島金融協会	宇和島市	Cプラン
株式会社花真珠	宇和島市	Cプラン
株式会社デジタルテクノロジー四国	松山市	Cプラン
第一生命保険株式会社 松山支社	松山市	Cプラン
富士フィルムイメージングシステムズ株式会社	東京都品川区	Cプラン
社会福祉法人正和会	宇和島市	Dプラン
株式会社サンメディカル	宇和島市	Dプラン
伊予鉄総合企画株式会社	松山市	Eプラン
有限会社宮居醤油店	宇和島市	Eプラン
生活協同組合コープえひめ	松山市	Eプラン
株式会社宇和島プロジェクト	宇和島市	Eプラン
株式会社伊織	松山市	Eプラン
医療法人友松外科・胃腸科	宇和島市	Eプラン

一般社団法人愛媛県薬剤師会 宇和島支部	宇和島市	Eプラン
株式会社マエダ	宇和島市	Eプラン
宇和島自動車株式会社	宇和島市	Eプラン
株式会社アリックス	宇和島市	Eプラン
宇和島商工会議所	宇和島市	Eプラン
宝酒造株式会社	京都市	Eプラン

8 効果測定

(1) 来場者数及び経済波及効果

① 来場者数

「宇和島フォトフェスティバル 2025 UWAJIMA SIGHTS」の来場者数は、宇和島城が 13,599 人、商店街が 20,148 人、天赦公園が 2,091 人、その他企画プログラム参加者が 732 人で、合計 36,570 人となった。

[会場別来場者数]

会場名	来場者数
宇和島城	13,599
商店街	20,148
天赦公園	2,091
企画プログラム	732
小計	36,570

[企画プログラムの参加者数の内訳]

期日	イベント名称	参加者数	備考
10/25 (土)	ライフキャリアデザイン	39	パフィオうわじまが会場
10/31 (金)	ライフキャリアデザイン	102	パフィオうわじまが会場
11/8 (土)	KOUJIYA BAR with UCC	50	Slows Cofffee が会場
11/16 (日)	サイアノタイプ	9	barber cruise が会場
11/23 (日)	宇和島城夜間開城	411	調査時間外イベント
11/24 (月)	ESECAN トークイベント	121	パフィオうわじまが会場
	プログラム参加者数	732	

※来場者数のカウントについて

宇和島フォトフェスティバル 2025 UWAJIMA SIGHTS は、トップアーティストの作品展示エリアである宇和島城や中心商店街に加え、市民作品の展示エリアの天赦公園、さらにはパフィオうわじまなどで開催された公式イベントや市民団体等が実施した広報連携イベントなど、市内各所で作品の展示や企画が実施されており、宇和島フォトフェスティバルのために訪れた実人数や作品ごとの来場者数を把握することはできない。

そこで、今回の宇和島フォトフェスティバル 2025 では、メイン展示会場である宇和島城や商店街と市民作品が展示された天赦公園の来場者数と、宇和島 ART プロジェクトや宇和島市が企画・実施した一部の公式イベントプログラムへの参加者数をもとに、最終的な来場者数を算出した。

② 来場者の属性

来場者数調査と会期中に実施したアンケート調査をもとにした来場者の属性は次のとおり。

- ・居住地 市内が 42.4%、県内が 26.5%、県外（海外含む）が 31.1%
- ・年代 50代が最も多く 23.0%、次いで 40代の 16.8%、30代が 16.8%
ターゲット層の 40代以下は、来場者全体の 50.4%

- ・性別 来場者全体では女性が61.5%、男性が38.3%
ターゲット層の40代以下は、女性が63.3%、男性が36.6%

[居住地]

居住地	割合
1 宇和島市内	42.4%
2 宇和島市近郊	7.2%
3 愛媛県南予地方	2.8%
4 愛媛県中予地方	12.6%
5 愛媛県東予地方	3.9%
6 愛媛県を除く四国地方	4.0%
7 四国地方以外	26.1%
8 海外	1.0%
合計	100.0%

[年代]

年代	割合				うち10～40代		
	全体	うち男性	うち女性	無回答	うち男性	うち女性	無回答
1 10代以下	8.1%	42.78%	56.20%	1.02%	36.6%	63.3%	0.2%
2 20代	9.8%	20.46%	79.54%	0.00%			
3 30代	15.7%	37.16%	62.84%	0.00%			
4 40代	16.8%	42.43%	57.57%	0.00%			
5 50代	23.0%	45.34%	53.94%	0.72%			
6 60代	13.9%	43.36%	56.64%	0.00%			
7 70代以上	12.6%	26.57%	73.43%	0.00%			
合計	100.0%	38.3%	61.5%	0.3%			

※割合は小数点以下の端数処理の関係で100%にならない場合がある

③ 経済波及効果

宇和島フォトフェスティバル2025 UWAJIMA SIGHTSの開催で宇和島市内にもたらされた経済波及効果（推計）は、鑑賞者の消費に伴う経済波及効果1億97百万円、事業運営費の支出に伴う経済波及効果54百万円で、合計2億51百万円となった。

また、愛媛県内にもたらされた経済波及効果（推計）は事業運営費支出に伴うものを含め4億43百万円となった。

ア 宇和島市内における経済波及効果・・・計 2.51 億円

鑑賞者の消費に伴う経済波及効果			事業費に対する 経済効果
	直接効果	間接効果	
1 億 97 百万円	1 億 58 百万円	39 百万円	1.71 倍

事業費の支出に伴う経済波及効果			事業費に対する 経済効果
	直接効果	間接効果	
54 百万円	43 百万円	11 百万円	0.47 倍

イ 愛媛県内における経済波及効果・・・計 4.43 億円

鑑賞者の消費に伴う経済波及効果			事業費に対する 経済効果
	直接効果	間接効果	
3 億 76 百万円	2 億 57 百万円	1 億 19 百万円	3.27 倍

事業費の支出に伴う経済波及効果			事業費に対する 経済効果
	直接効果	間接効果	
67 百万円	46 百万円	21 百万円	0.58 倍

※直接効果…来場者の消費支出額（宿泊費・飲食費等）や、イベント運営等事業費による効果（域外からの財やサービスの調達が見込まれる分は除く）。

※間接効果…✓一次波及効果

直接効果によって生産が増加した産業で必要となる原材料等を購入することで新たに発生する財・サービスの生産誘発額

✓二次波及効果

直接効果と一次波及効果で増加した雇用者所得が消費に回されたことで、各産業の商品等が消費されて新たに発生する財・サービスの生産誘発額

※前提条件…宇和島 ART プロジェクトが期間中に実施したアンケート結果や、宇和島フォトフェスティバル 2025 の来場者数をもとに、試算上の鑑賞者数を 19,496 人として推計

(2) 満足度等調査

① 一般来場者

会期中に実施したアンケート調査に基づく来場者の「宇和島フォトフェスティバル 2025 UWAJIMA SIGHTS」の主要 4 指標（満足度・推奨度・再訪意欲・宇和島に対する印象の変化）に関する調査の概要は次のとおり。

<一般来場者アンケート調査実施概要>

- ・アンケート実施期間は会期中の延べ 11 日間
- ・観光情報センター前及び袋町 2 丁目商店街の百面牛鬼のブース付近において、来場者に対してアンケート調査を実施
- ・経済波及効果の効果測定の基礎資料となる消費行動についてもあわせて調査
- ・回答総数（n）は 622 件。設問ごとに無効票がある場合は集計（n）から除外

[満足度等調査]

- ・40 代以下の若い世代の評価は全体よりも 7～16 ポイント高い傾向

- ・「推奨度」は若い世代の全体としてもマイナス値だが、市内・県内はプラス評価
- ・若い世代の「都市イメージの向上 (=印象の変化)」は、特に市内・県内に対して好影響を与えている。

項目	全体	40代以下	
		全体	居住地別
満足度*1	67.52%	79.31%	市内 86.91% > 県内 82.76% > 県外 71.43%
推奨度 (NPS*2)	-18.32%	-1.37%	市内 15.47% > 県内 04.59% > 県外 -17.64%
再訪意欲*3	62.06%	71.73%	市内 86.91% > 県内 81.61% > 県外 53.78%
印象の変化*4	75.24%	82.76%	県内 88.51% > 市内 84.53% > 県外 77.31%

*1 「とても満足」または「満足」と回答した人の割合の合計

*2 NPS (ネットプロモータースコア)

「企業やブランドに対する愛着・信頼の度合い」を数値化する指標。「あなたは宇和島フォトフェスティバル 2025 への来場を、親しい友人や家族にどの程度すすめたいと思うか?」という質問に対し、0点~10点の11段階で回答してもらい、「推奨者 (9~10点)」の割合から「批判者 (0~6点)」の割合を引いてスコアを算出

*3 「ぜひ来場したい」または「どちらかというと来場したい」と回答した人の割合の合計

*4 「プラスに変わった」または「どちらかというとプラスに変わった」と回答した人の割合の合計

また、満足度調査において、「とても満足」または「満足」と回答した人に対し、「宇和島フォトフェスティバル 2025 UWAJIMA SIGHTS」来訪後の気持ちについて質問した結果は次のとおり。

[満足者の来訪後の気持ち]

- ・全体と40代以下の若い世代を比較では全体的にはほぼ同じ傾向
- ・「気軽にアートを楽しむことができた/アートを身近に感じる事ができた」と感じた人は7割を超えて最も多く、次いで「宇和島城や商店街などの新たな魅力を発見した」と回答した人が約3割
- ・一方で「自分のライフスタイルにもっとアートを取り入れたい」や「アートを通じて自己表現したくなった」と回答した人は1割にも満たない

選択肢 (複数回答可)	全体	40代以下
1 気軽にアートを楽しむことができた アートを身近に感じる事ができた	71.67%	75.22%
2 アートに対して関心が高まった	27.38%	32.17%
3 参加しているアーティストのことを もっと知りたくなった	15.00%	16.52%
4 クリエイティブな発想に興味を持った	26.19%	27.83%
5 宇和島城や商店街などの新たな魅力を発見した	33.57%	37.39%
6 近い将来、もう一度宇和島を訪れたいと思った	16.19%	13.91%
7 自分のライフスタイルにもっとアートを取り入れ たいと思った	8.81%	9.57%

8 アートを通じて自己表現をしたくなった	4.29%	6.09%
9 当てはまるものはない	1.19%	0.87%

※複数回答可のため合計が100%にならない

[まとめ]

- ・本事業はメインターゲット層である40代以下の若い世代に対してはリーチできたと考えられる
- ・一方で、「推奨度（NPS）」は若年層でもマイナス値を示しており、「満足度」は高いものの、特に県外在住者に対して人に勧めたくなるほどの「強い感動」や「独自の体験価値」には一歩届いていない現状がうかがえた
- ・「満足した」と回答した人の多くは「アートを身近に感じてもらう」という部分については満足を得られたことが伺えるが、「ライフスタイルへのアートの取り入れ」や「アートを通じた自己表現」といった行動変容を促すまでに至る人は少ない傾向がみてとれる

② 関係者

公式イベントなどに関わった関係者は、一般来場者と主催者の間にあたる層であり、今後のプロジェクトの発展には欠かせない存在である。そのため、公式イベントなどに関わった関係者に対し、一般来場者と同じ主要4指標に加え、事業評価に関するアンケートを実施し、関係者の本事業に対する評価を測定した。結果は次のとおり。

[満足度等調査]

- ・関係者の「再訪意欲」は一般来場者と比べて20ポイント以上高い
- ・「満足度」や「推奨度」も一般来場者よりも4ポイント程度高いが、「印象の変化」は一般来場者よりも4ポイント程度低い

項目	関係者	一般来場者
満足度	71.43%	67.52%
推奨度（NPS）	-14.28%	-18.32%
再訪意欲	85.71%	62.06%
印象の変化	71.43%	75.24%

[事業評価]

- ・「アートやデザインの力を使って、宇和島の魅力を創出し、発信することは地域の活性化に有効な手法だと思うか」という質問に対して、関係者の85.72%は「有効」と回答
- ・「本事業がまちの賑わい創出につながるきっかけとなったか」という質問に対し、全員が「きっかけとなった」と回答

設問	関係者	備考
アートやデザインの力を使って、宇和島の魅力を創出し、発信することは地域の活性化に有効か	85.72%	「有効だと思う」と「どちらかというとも有効だと思う」の合計割合
本事業が「まちの賑わい創出」につながるきっかけとなったか	100.0%	「きっかけとなった」と「どちらかというとききっかけとなった」の合計割合

[改善点及び今後の関わり方]

- ・改善点として最も多かった回答は「アーティスト情報など、もっと早く周知してもらいたかった（85.71%）」で、次いで「学校の授業で観覧させる仕組みがあればよかった（71.43%）」が続いた。
- ・「次回、開催されるとした場合、どのように関わりたいか」を質問したところ、回答した関係者全員が「展示期間中に何か連携イベントを自主的に実施したい」と回答

選択肢 ※複数回答可のため合計が 100%にならない	関係者
アーティストに宇和島出身者がいればよかった	42.86%
もっと気軽に市民がその場で参加できるプログラムがあればよかった	57.14%
アーティストとの交流プログラムに日程的な偏りがあった	0.00%
市民が事前にアーティストと一緒にアート作品をつくるプログラムをやって、イベント当日に展示する企画などがもっとあればよかった	57.14%
もっと展示ガイドツアーがあればよかった	57.14%
誘客のための旅行ツアーなどがあればよかった	57.14%
アーティスト情報など、もっと早く周知してもらいたかった	85.71%
学校の授業で観覧させる仕組みがあればよかった	71.43%
アートやデザインに気軽に触れられるプログラムなどがあればよかった	28.57%
その他	42.86%

選択肢 ※複数回答可のため合計が 100%にならない	関係者
ボランティアスタッフとして	28.57%
展示期間中に新たな公式イベント（*1）を企画・実施	57.14%
展示期間中に何か連携イベント（*2）を自主的に実施	100.00%
展示期間中にキャンペーンを展開するなど、盛り上げられる企画を実施	14.29%
協賛で協力	0.00%
周知活動に協力	57.14%
その他	0.00%

*1 公式イベントの例…PARK SIDE GALLERY、対話型アート鑑賞ツアー、百面牛鬼、会場サインワークショップなど

*2 連携イベントの例…伊達な城下町、デカルマチニーなど

[まとめ]

- ・関係者がクリエイティブ人材、またはアートやクリエイティブに関心が高い層であることから、「再訪意欲」や「事業評価」の部分で評価が高く出たものと思われる。
- ・改善点としては「事前周知」と「学校教育現場との連携」が挙げられる。
- ・「連携イベントを自主的に実施したい」や「新たな公式イベントを実施したい」という声が多く寄せられたことは、関係者が本事業の発展に今後も関わっていただけることが期待される結果となったことがうかがえる。

③ 委員

今後のプロジェクトを発展させるために、実施主体である委員自身も関係者と同様に一般来場者と同じ主要4指標に加え、事業評価に関するアンケートを実施した。結果は次のとおり。

[満足度等調査]

- ・一般来場者と比べて委員の「再訪意欲」は75%と、一般来場者全体よりも10ポイント以上高いが、「満足度」は10ポイント以上、「推奨度」と「印象の変化」も7～9ポイント程度低い

項目	委員	一般来場者
満足度	50.00%	67.52%
推奨度 (NPS)	-25.00%	-18.32%
再訪意欲	75.00%	62.06%
印象の変化	66.67%	75.24%

[事業評価]

- ・「アートやデザインの力を使って、宇和島の魅力を創出し、発信することは地域の活性化に有効な手法だと思うか」という質問に対して、委員の83.33%は「有効」と回答し、関係者とほぼ同じ結果
- ・「本事業がまちの賑わい創出につながるきっかけとなったか」という質問に対し、委員の66.67%が「きっかけとなった」と回答し、関係者(100%)よりも低く、主催者として厳しい評価をしていることがうかがえる

設問	委員	備考
アートやデザインの力を使って、宇和島の魅力を創出し、発信することは地域の活性化に有効か	83.33%	「有効だと思う」と「どちらかというとも有効だと思う」の合計割合
本事業が「まちの賑わい創出」につながるきっかけとなったか	66.67%	「きっかけとなった」と「どちらかというときっかけとなった」の合計割合

[改善点及び今後の関わり方]

- ・改善点として最も多かった回答は、「学校の授業で観覧させる仕組みがあればよかった (66.67%)」で、次いで「アーティストに宇和島出身者がいればよかった (58.33%)」が続いた。
- ・「次回、開催されるとした場合、どのように関わりたいか」を質問したところ、「周知活動のところで協力したい」という回答が 58.33% で最も高かった。

選択肢	委員
アーティストに宇和島出身者がいればよかった	58.33%
もっと気軽に市民がその場で参加できるプログラムがあればよかった	33.33%
アーティストとの交流プログラムに日程的な偏りがあった	16.67%
市民が事前にアーティストと一緒にアート作品をつくるプログラムをやって、イベント当日に展示する企画などがもっとあればよかった	50.00%
もっと展示ガイドツアーがあればよかった	41.67%
誘客のための旅行ツアーなどがあればよかった	25.00%
アーティスト情報など、もっと早く周知してもらいたかった	41.67%
学校の授業で観覧させる仕組みがあればよかった	66.67%
アートやデザインに気軽に触れられるプログラムなどがあればよかった	50.00%
その他	0.00%

選択肢 ※複数回答可のため合計が 100%にならない	関係者
ボランティアスタッフとして	25.00%
展示期間中に新たな公式イベント (*1) を企画・実施	8.33%
展示期間中に何か連携イベント (*2) を自主的に実施	25.00%
展示期間中にキャンペーンを展開するなど、盛り上げられる企画を実施	25.00%
協賛で協力	8.33%
周知活動に協力	58.33%
その他	0.00%

*1 公式イベントの例…PARK SIDE GALLERY、対話型アート鑑賞ツアー、百面牛鬼、会場サインワークショップなど

*2 連携イベントの例…伊達な城下町、デカルマチニーなど

[まとめ]

- ・委員は「アートやデザインの力が地域の魅力創造や発信などの地域の活性化には有効」とは考えているものの、本事業自体の「満足度」は一般来場者や関係者よりも厳しい
- ・あわせて関係者ほどには「本事業がまちの賑わい創出につながっていると思っていない」という評価
- ・特に「教育現場との連携」や「地域資源（出身者等）の活用」に課題
- ・委員の今後の関わり方として「周知活動での協力」にとどまっており、委員自身も事業に積極的に関わっていきやすい「仕組み」をどのように構築するかも課題

(3) 地域への影響

① 展示会場付近の賑わい創出

アーティスト作品の展示会場となった宇和島城天守、中心商店街、高校生の作品展示会場となった SLOWS COFFEE の入場者数等について前年同時期と比較した。結果は次のとおり。いずれも会期中の来場者数は増えており、まちの賑わい創出に一定の寄与はできたものと推察される。

項目	会期中	前年同時期	前年比
宇和島城天守 入場者数 (実数)	7,305 人	5,999 人	1,306 人増
中心商店街 (*1) 来街者数 (推計)	17,495 人	12,428 人	5,067 人増
SLOWS COFFEE 注文客数 (*2)	4,282 人	2,924 人	1,358 人増

*1 なるべく同一条件 (調査時間、進行方向、歩行者のみ) になるように調整

前年実績は商工会議所と商店街が発行した令和6年5月の資料を採用

対象商店街は恵美須町1丁目、新橋通り、袋町2丁目の3商店街

*2 ドリンクオーダー数

④ 宿泊客の動向

展示会場付近に立地するホテル6カ所に対し、会期中の宿泊客の動向についてヒアリングを行った。結果のうち、合計宿泊客数と平均宿泊稼働率は次のとおり。

また、宿泊客の動向に関する印象としては、一部のホテルからは「土日の宿泊客に若い世代が少し増えた印象を受けた」という報告もあったが、近隣ホテル全体の一致した印象としては「一定数の宿泊はあったと思われるが、ホテルのフロントスタッフの印象に残るほどの大きな宿泊客層の変化にはまだ至っていない」との結果となった。

項目	会期中*	前年同時期	前年比
合計宿泊客数	17,273 人	16,296 人	977 人増
平均宿泊稼働率	83.60%	80.40%	3.20%増

*令和7年10月24日～11月24日

(4) 事業評価

① 来場者数・経済波及効果

「まちの賑わい創出」という観点において本事業が一定の効果が得られたことが明らかになった。

② 一般来場者アンケート結果から

40代以下の「宇和島に対する印象がプラスに変わった (82.76%)」という結果は、まちづくりを考えるうえで重要な要素であり、この地域の将来展望や新たな魅力発展への期待が示されている。

一方で、「推奨度（NPS）」は40代以下でもマイナス値を示しており、「満足度」は高いものの、特に県外在住者に対して人に勧めたくなるほどの「強い感動」や「独自の体験価値」には一歩届いていない現状が見受けられた。

さらに、「満足者」の「来場したときの気持ちの変化」を調査すると、「アートを身近に感じた」と回答する人が多かったものの、それが「生活への浸透」や「自己表現」にはつながらず、「一過性の鑑賞体験」に留まっていることがわかった。

40代以下の来場者が約50%であったことを踏まえると、今後は若年層が興味を引くようなアートイベントやコラボレーション企画を充実させ、若年層の参加や交流をさらに促進する工夫と何度も訪れたいくなる環境づくりが重要であると考えられる。

③ 関係者及び委員のアンケート結果から

関係者から「連携イベントを自主的に実施したい」や「新たな公式イベントを実施したい」という声が多く寄せられたことは、関係者が本事業の発展に今後も関わっていただけることが期待される結果となっている。

一方で、関係者からは改善点として「情報周知の充実」や「学校の授業で観覧させる仕組み」を求める声寄せられた。

また、委員の評価は一般来場者や関係者よりも厳しいものとなっており、関係者からの改善点に加え、「地域資源（出身者等）の活用」にも課題が残ったことが指摘された。

④ まとめ

今後は、来場者が単なる「鑑賞者」から、自ら動く「当事者」や「表現者」に変わるための行動のきっかけを用意し、本市の魅力向上にもつなげていくとともに、関係者や委員から指摘された「情報周知の早期化」や「教育現場との積極的な連携」といった課題等に留意しながら、宇和島の魅力をより深く掘り下げる「地域密着型のアートプロジェクト」を目指す必要がある。

宇和島ARTプロジェクト事業の今後について

アートを活用した新たな地域振興

1

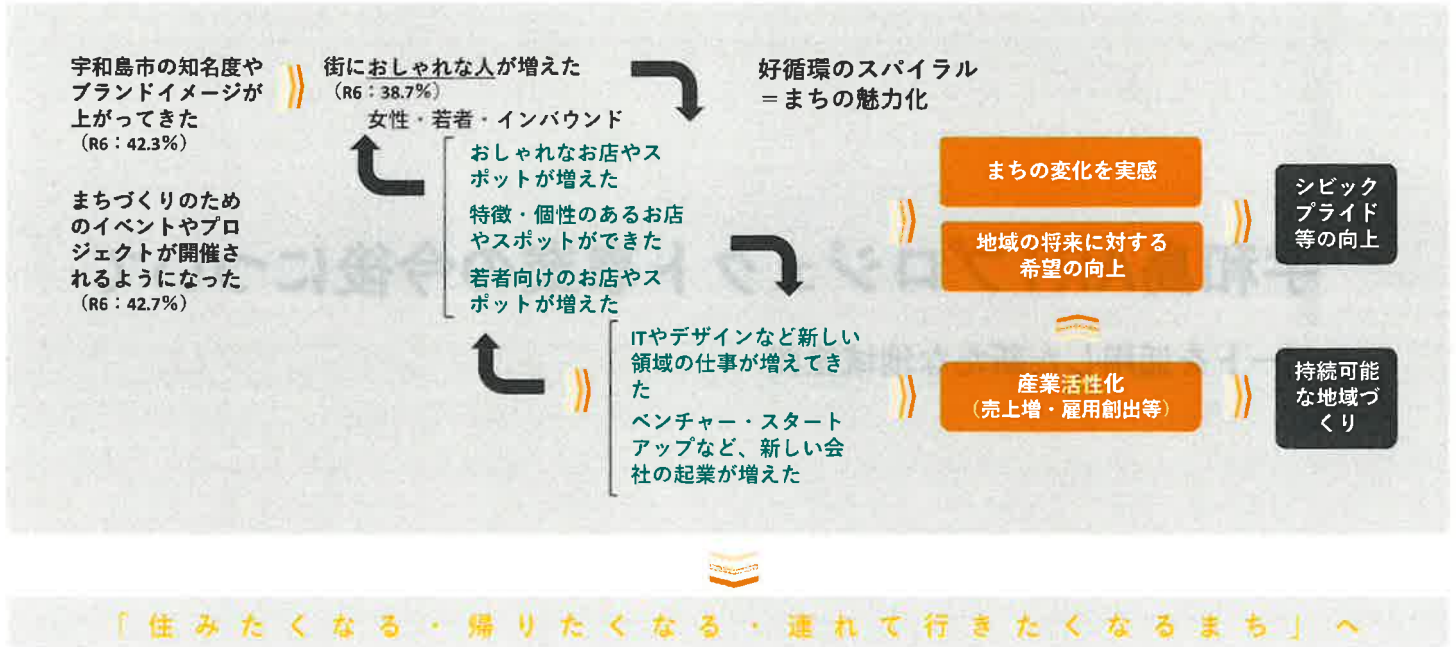
宇和島ARTプロジェクトとは

委員
宇和島商工会議所（青年部含む） 吉田三間商工会・津島町商工会
宇和島市観光物産協会
商店街（恵美須町、新橋、袋町）
四国旅客鉄道株式会社
宇和島市
愛媛県南予地方局
宇和島市小中学校校長会
宇和島金融協会
宇和島ケーブルテレビ株式会社
宇和島青年会議所
宇和島異業種交流会
愛媛県アートコミュニケータ

- 令和7年度に発足
- 官民協働の任意団体
- アートやデザインを活用した
地域振興によるまちの魅力化を推進

2

アートやデザインの力を活用しながら、まちの新たな魅力と価値を創造し発信することで、地域振興を図ろうとするもの。多くの市民が希望を抱き、宇和島の明るい未来につながるよう、まちに変化をもたらしながら、さまざまな場面（移住・観光・ふるさと納税等）で「選ばれるまち」を目指していく。



宇和島フォトフェスティバル2025 UWAJIMA SIGHTS の概要

概要 ■期間：令和7年10月25日（土）～11月24日（月・祝）※前日にプレツアーあり ■会場：宇和島城・中心市街地

目的 ■新たな人の流れをつくり出すリーディング事業 ■地域のクリエイティブ力の底上げと「見える化」
 ✓ 官民共同の任意団体「宇和島ARTプロジェクト」の立ち上げ ⇒ ALL宇和島での魅力づくり
 ✓ R6市民ワークショップ参加者を中心に、宇和島ARTプロジェクトがハブとなった新たなコミュニティ「宇和島クリエイティブコミュニティ」を構築 ⇒ 地域クリエイティブ力の底上げと「見える化」の端緒

アーティスト作品の展示・交流イベント (UWAJIMA SIGHTS)

■参加アーティスト

- ・安藤瑠美 ・岩根 愛
- ・吉桑洋平 ・小池健輔
- ・TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH (小山泰介 | 築山雄太 | 河原孝典)
- ・濱田祐史 ・本城直季
- ・森山大道 ・イナ・ジャン
- ・チャーリー・エンゲマン
- ・シェルテンス & アベネス
- ・IMA next



■イベント

- ・UWAJIMA SIGHTS 2025 展示作品ガイドツアー (10/25)
- ・不定期にどこかに現れる本屋「Phonton Observation Club」 (10/25・26)
- ・プレゼント企画「はじめての写真集」 (10/25・26・11/1・2・22・23・24)
- ・ワークショップ「シルクスクリーンスタンドポック」 (10/25・26)
- ・ワークショップ「新大陸」をつくろう！ (10/25・26)
- ・宇和島フォトグラフィックリサーチ (11/8)

公式イベント (UWAJIMA SIGHTS and)

■宇和島ARTプロジェクトのイベント

- ・PARK SIDE GALLERY (10/1～1/12)
- ・Uwajima Creative Community 「百面牛鬼」 (10/25～11/24)
- ・Uwajima Creative Community 「KOUJIA Bar with UCC」 (11/8)
- ・Uwajima Creative Community 「アオノマチ」 (11/16)
- ・対話型アート鑑賞ツアー (10/26・11/2・11/3)
- ・「会場サインをつくろう」ワークショップ (10/26)
- ・宇和島城夜間開城 (11/23)
- ・ESECAN (中村和孝・中澤保人) トークイベント (11/24)

■市が実施する公式イベント

- ・宇和島百景巡回展 (7/12～17・7/19～21・8/23～24)
- ・図書館における特集コーナーの設置 (10/1～11/15)
- ・クリーン新宇和島における会場清掃活動 (10/4)
- ・写真家とのトークセッション (10/25・31)
- ・高校生の作品制作と展示 (10/25～11/24)
- ・ラックポイントのスタンプラリー (10/25～11/24)

連携イベント (UWAJIMA SIGHTS more)

■期間中に行われる市・各種団体・機関のイベントをHP・SNS・パンフレット等であわせて告知 (広報連携)

■来場者数

- 延べ来場者数（推計） 36,570人
内訳）宇和島城：13,599人 商店街：20,148人 天赦公園：2,091人 その他：732人

[来場者数の属性]

- 年代別 40代以下の来場が50.4%
内訳）10代以下：8.1%、20代：9.8%、30代：15.7%、40代：16.8%
50代：23.0%、60代：13.9%、70代以上：12.6%
- 男女比 女性が6割（40代以下も女性が6割）
内訳）男性：38.3%、**女性：61.5%**、答えたくない：0.3%
※40代以下
男性：36.6% **女性：63.3%**、答えたくない：0.2%
- 居住地 県外客が3割
市内：42.4%、県内：26.5%、**県外：31.1%**

■経済波及効果（市内）

- 計2.51億円（推計）
うち観光消費額 1.97億円
うち事業運営支出に伴うもの 0.54億円

計画	結果
来場者数 30,000人	来場者数 36,570人
観光消費額 2.1億円	観光消費額 1.97億円
子育て世代がターゲット	40代以下の来場が約50%
宇和島の魅力向上	来場者の約75%（40代以下だと約83%）がまちに対する印象がプラスに変化と回答
まちの賑わい（主催者（委員））	賑わい創出につながった：約67%
調査内容抜粋	結果
来場者の満足度	全体の約68%が満足（40代以下だと80%弱）
来場者の属性	市内：約42%、県内：約27% 県外：約31%
改善点	学校の授業で観覧させる仕組み 主催者：約67% 関係者：約71%
UWAJIMA SIGHTSへの参加・連携意欲	期間中に何か連携イベントを自主的に実施したい：100%（関係者）

意見

■子育て世代に関して

- 子どもが楽しめる内容が少なかった
- 学校を巻き込む仕掛けがなかった

■アーティストや作品に関して

- 地元で活躍する人の巻き込みがなかった
- 地元ゆかりの活躍している人の参加がなかった
- 展示場所と作品の関連性が弱い
- わかりにくい（伝わらない）・難しいといった意見は、全てのセグメントからあり

※そのほか、広報・PR不足に関する意見は多数あり

▶アートやデザインによる地域振興の可能性に着目

